

二輪車新聞

発行所 二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 西03 (3438) 1.31.1
接客口 03-3438-7777
代表取締役 水村玄一
大阪支社 〒594-0006 大阪市東淀川区
2-2-20 白旗ビル西03 (6341) 3997
静岡支社 〒420-0065 静岡市東区十軒町
7-8 セブンビル西03 (54) 2532221
週刊・毎週金曜日発行
購読料 1冊 300円
1ヶ月 12,000円

D.I.D. Racing Chain
http://www.didm.com
株式会社 D.I.D.
〒532-0081
大阪市中央区南船場2-12-12
TEL (06) 6251-2027 (代)
FAX (06) 6258-3253 (代)

第25回大阪モーターサイクルショー2009
第36回東京モーターサイクルショー

特集号 盛況 春の2大ショー

両会場 来場者が増加

二輪車市場に春の訪れを告げるように、大阪・東京の2大モーターサイクルショーが3月の第3週、第4週の週末にかけて開催された。第25回大阪モーターサイクルショー2009(主催 大阪府二輪車協会)会場リネックス大阪は3月20日、22日、第36回東京モーターサイクルショー(主催 東京モーターサイクルショー協会)会場リネックス東京は3月27日、28日、それぞれ開催された。来場者数は、大阪は最終日となったものの4万1034人(前年1・2%増)、東京は3日間とも晴天に恵まれたこともあって9万9739人(同1・8%増)と、ともに前年を上回り、業界関係者を安心させた。両会場とも多くの来場者で賑わいを見せ、試乗会の会場では希望者の長い列ができていた。また、参加関連団体も含めて「安全」「楽しさ」「環境」などを基本テーマに最新情報を発信した。モーターサイクルショーで、多くの人に二輪車を「見て、触って、乗って」もらって、本来の楽しさや便利さを実感して、二輪車の世界に入ってきてほしいものだ。ショーをきっかけに、不況をはねのけて、市場に活況を取り戻したい。

モーターサイクルショー 来場者参加型イベントとしては、既存ユーザーだけでなく、盛り上げた。出展は59社、潜在的なユーザーも取で、前回より17社下回りだが、「楽しさ」「楽しさ」が、会場のインテックス大阪2号館の会場面積は約6万7000㎡で、ほかにも屋外会場のキーワードに、車両、会場として「楽しさ」をキーワードに、車両、部品用品、ウエアカスタム、部品用品、ウエアカスタムなどの展示、イベントなどの特設コーナーも盛り込まれていて、来場者も積極的に参加している。大阪モーターサイクルショーは、06年からこの家族全員が楽しめる来場者参加型イベントとして、既存ユーザーだけでなく、潜在的なユーザーも取で、前回より17社下回りだが、「楽しさ」「楽しさ」が、会場のインテックス大阪2号館の会場面積は約6万7000㎡で、ほかにも屋外会場のキーワードに、車両、会場として「楽しさ」をキーワードに、車両、部品用品、ウエアカスタム、部品用品、ウエアカスタムなどの展示、イベントなどの特設コーナーも盛り込まれていて、来場者も積極的に参加している。



Custom Japan カスタムジャパン
www.customjapan.jp
バイク/自転車パーツの流通をカスタムする会社

今年秋、第36回東京モーターショーの出展が主催者の日本自動車工業会から発表された。二輪車部門では、カワサキが不参加となり、国産メーカーはスズキ、ホンダ、ヤマハの3社となる。海外からはアペリア(イタリア)、ホンパルディエ(カナダ)、ハーレーダビッドソン(アメリカ)、キムコ(台湾)、トリアンフ(ベトナム)の5社が参加を表明している。

場面積を拡大して以来、今対象のスクーター試乗会などにも同規模で開催。会場は、西1号館、2号館とアトリウムまで面積は1万9600㎡。試乗会などを行う屋外会場は1万3000㎡。今回は「トライアス」と交流しながら、ともに都下のテーマのもと、事前のホッパスターのデサイ目を指すこととする気持ちがかがた。この2大モーターサイクルショー開催がファン心の揺り動かして、春の商戦の起爆剤となって市場が好転することを期待したい。

大阪・東京会場とも来場者が増加し、市場の好転を予感させた。東京会場では警視庁のイベントにタレントの眞鍋かをりさんが特別参加し、笑顔を振りまいた。





【WP】前回の大阪・東京の各ショーに続き、KTMブース内に同グループのWP(オランダ)サスペンションのコーナーが設置。1190RC-8/R09レーシングリアショックをはじめWP製品がスラリ。製品説明はWP日本正規輸入元のエムシーインターナショナルのスタッフが当たった(大阪・東京)

「スモキビジネス」スコートヘルメット09年モデルは頭体を日本人の頭の形に合わせて再設計し、高いフィット性と安全性を追求。アドレスV125Gのメットインスペースに入る点も「R」DNA-450A「R」には内装エアポンプ調整機能も装備してフェイ



【江沼チエン製作所】E.Kブランドチェーンで知られる同社が、新たなブランドとしてデザイン、機能美、軽量化を兼ね備えてこの春より本格展開する自社ハイエンドモデル「ThreeD(スリード)」をPR。昨年より展開しているE.Kブランドの「メタルカラーチェーン」には新色グリーンも投入(東京)

「オーシーケーカブト」安全性と快適性を追求したスホーティージェットヘルメット「AVAND」は、風洞実験により開発されたウエイクスタビライザーが走行時のブレを抑える。新しいキャラクタージェットヘルメットに「ルパン三世」が登場。「チキチキマシン猛レース」は新デザインで登場した(東京)



【ヒットサポート】ウェブ上で簡単操作することで愛車のメンテナンス時期を自動メールで知らせる無料のオンラインサービスサイト「サイドスタンド」。今春よりスタートさせている走行メモ機能、携帯電話での情報提供など、よりユーザーに嬉しいサービスを追加しており、その充実の内容をPR(大阪)

「ダンロップファルケンタイヤ」スポーツマックスシリーズをはじめ新タイヤ多彩。1月より発売され好評の「タオリアファイアーII」の技術説明を開催。さらに北川圭一氏、八代俊二氏、上田昇氏らによるレーシングタイヤ最新線の話、小川友幸、中須賀克行、成田亮選手によるトークショーも盛況(大阪・東京)



「スベシヤルパーツ武川」モンキーなどのカスタムパーツで知られる同社は、今回もモンキーカスタム車を中心にエイブやアドレス、KSRのカスタム車などを展示して豊富なパーツ数をPR。もちろんモンキーF1用パーツも充実。独特な展示方法が来場者の興味をさらに高めているようだ(東京)



「アクティブ」アルミ鍛造ホイールのゲイルスピードブランドにカーボンタイプのD、15本スポークのS、ミニバイク用のR、ドライカーボンを貼り合わせたハイブリッドと意欲作続々。ブレーキシステムにも着手し、マスターシリンダーやキャリアバーなど単に装着された製品も参出品(東京)



【ベストBike】全国60店舗に広がるレンタルバイクチェーン。そのネットワークを生かして全国乗り捨てネットを実現。自分の県にあるのか興味深げに質問してくる来場者が多くみられた。さらなる新しいバイクライフの提案として新車を2年間レンタルできる「2 YEARレンタルバイク」も紹介(東京)



【タナックス】バイクライフを楽しくするモトフィズブランド製品など豊富にラインナップ。ETCハンドルマウントステーや「バインドシステム」、春の新作バッグ、バイクと一体感のあるフォルムの「シートカウルバッグ」蓄電池機能付きのいたずら抑止アイテムの「ローディングアラーム」など充実(東京)

「カスタムジャパン・オフティマム事業部」自社ブランドをPR。スクーターカスタムパーツ「オフティマム」はアドレスに装着し好評。防犯用品の「どるな」、整備工具アロウズ、ブレーキパッドのPPF、ミラーのミラックス、バイクの空間を創造するBR、G Eバッテリーのプロセレクトバッテリーも(東京)



【デルタ】ミニスクーターユーザー待望のPH7・8、PH12H/Dライティエンクユニット登場(東京)

【カジカワ】MCシューターフィシャル限定ジッポやオリジナルランバープレートジッポを販売(大阪)

【E.L.G.レーシングシステム】台湾で二輪から電車まで対応するブレーキ&クラッチパッドメーカー(東京)

【アルマジロ】英国ブランド「アルマジロ」のスクーターウェアで、ストリートカジジュアルにも(東京)

【発技研】東京MCショーでの実演販売でおなじみのケミカル製品「花咲かG」シリーズ(東京)

【ボスコ・モト】好評のニアレンス「ベリック」ブランドのウェアなど(大阪・東京)

【タカラベスラ】国産ブレイクパッド「ベスラ」のPRは今年もイローカアンプの正規店を持つ同社の活動をPR(大阪)

【カワラモーターズ】BMW、ドゥカティ、トライアンフの正規店を持つ同社の活動をPR(大阪)

【PMC・INC】自社ブランド「WORD」ホイールをフルモデルチェンジ(東京)

【トータルクラブ】CB400・1300SE用などのカーボン・FRP製塗装済み外装製品(大阪)

【ホッシュ】ワインカーや電装系が充実。アルマックスブランド新製品やコセコム対応ユニットも(東京)

【ファイヤーマスター】シャパン、英国ブランド「ファイアマスター」の車載消火器をPR(東京)